学校番号	3005

令和５年度　建築科

教科	工業	科目	設計技術	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学校作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自ら考えた建築物を設計図面として具体的に表現するための知識と方法を学習し、実践します。知識を習得するだけではなく、与えられたコンセプトに対して自分なりの答えを何度も繰り返し考え続け、形にする粘り強さが必要です。そのためにも、日頃から建築雑誌に掲載されている作品の研究のみならず、建築以外の知識や現在の社会問題などにも興味を広げておいてください。

2　学習の到達目標

建築設計コンペの取り組みを通して課題に対し主体的・能動的に分析を行うとともに、コンペのテーマを反映したコンセプトを立案し、独自性の高い設計案を製作する能力、表現力の高い図面や模型等を作成する能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	既存の有名建築物におけるコンセプトと造形の在り方に関心を持ち、設計に関する専門的な知識の習得に意欲を持って取り組むとともに、これらを活用しようとする態度を身につけている。	インターネットや専門誌等を活用し、主体的・能動的に情報の収集と分析を行ってコンペのテーマに沿った課題等について思考し、どう応えるべきか判断するとともに、その結果を形として表現できる。	手書きによる明瞭で美しい描写技術を身につけるとともに、CAD や 3DCG など ICT の積極的な活用を図り、表現力の高い作品を完成させる。	授業で得た知識のみならず、自ら得た情報や分析結果による知識を増やすとともに、それらから浮かび上がってくる課題の方向性について理解している。
評価方法	出席状況 授業態度 提出物	提出物 プレゼンテーション 完成作品	提出物 プレゼンテーション 完成作品	提出物 プレゼンテーション 完成作品

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	建築設計コンペ1　日本建築協会工高生デザインコンクール	・課題及び過去入選作品の分析 ・情報の収集、コンセプト立案 ・アイディアの視覚化、プレゼンテーション ・エスキスの製作 ・模型・3DCG などの製作 ・提出作品の完成、振り返り	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:既存作品の技法に関心を持ち、自らの作品に活用する態度を身につけている。 b:インターネットや書籍等、自主的に情報収集や調査を行い、その分析を元にコンセプトを立案している。 c:スケッチやCG・模型などを駆使して設計案を具体的・魅力的に他者へと伝えようとしている。 d:与えられたテーマから社会的課題を理解し、それに適切に応えたコンセプトの方向性を打ち出すことができている。	出席状況 授業態度 提出物 プレゼンテーション 完成作品
後期	建築設計コンペ2　大阪府公共建築設計コンクール　あすなろ夢建築	・課題及び過去入選作品の分析 ・情報の収集、コンセプト立案 ・アイディアの視覚化、プレゼンテーション ・エスキスの製作 ・模型・3DCG などの製作 ・提出作品の完成、振り返り	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:既存作品の技法に関心・知識を持ち、自らの作品に活用する態度を身につけている。 b:インターネットや書籍等、自主的に情報収集や調査を行い、その分析を元にコンセプトを立案している。 c:スケッチやＣＧ・模型などを駆使して設計案を具体的・魅力的に他者へと伝えようとしている。 d:与えられたテーマから社会的課題を理解し、それに適切に応えたコンセプトの方向性を打ち出すことができている。	出席状況 授業態度 提出物 プレゼンテーション 完成作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解